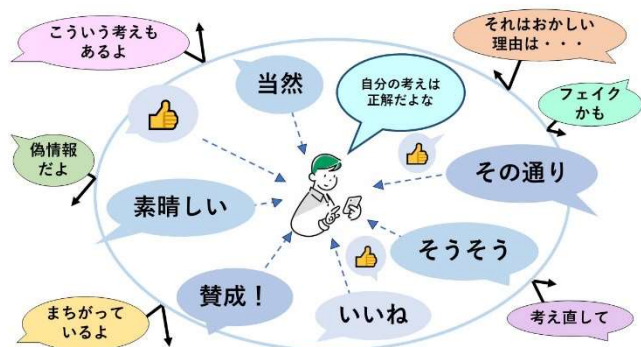




デイジー

通級指導教室便り
2024.1.29
裾野市立西中学校

知らないうちに あなたも エコーチェンバーや フィルターバブルの中に・・・



見えない壁に 囲まれやすい SNS 環境

エコーチェンバーとは、SNS 上で、自分と似たような価値観や考え方のユーザーをフォローすることで、同じようなニュースや情報ばかりが流通する情報環境のことをいいます。同じ情報ばかりを見聞きすることによって、単純接触効果により、真偽不明な情報でも信じ込みやすくなってしまふとされています。自分の発言内容に賛同の声が集まりやすいことから、思考が極端化しやすいというリスクもあります。

一方の**フィルターバブル**は、ユーザーの好みを学習したアルゴリズムによって、そのユーザーが好む情報ばかりがやってくるような環境をいいます。真偽よりもユーザーの好みによってアルゴリズムが情報を選び取ってしまうため、虚偽の情報が紛れ込みやすい環境ができあがってしまうところにフィルターバブルの恐ろしさがあります。

考え方の偏りを防ぐ有効な方法▶▶積極的に自分とは異なる意見を持つ人の考えに触れる。検索履歴の影響を受けないように検索履歴を削除する。検索履歴が残らない閲覧モードでブラウザを利用する。

抜粋：docomo business コラム/心理カウンセラー黒田貴晴

2月の予定

(通級日時を忘れないように、予定を書き込んでおきましょう。時間割変更があった場合は、再連絡します。)

月	火	水	木	金
			2月1日	2月2日
			1・2年教育相談	1・2年教育相談
2月5日	2月6日	2月7日	2月8日	2月9日
1・2年教育相談	私立高入試	私立高入試	2年立志式 1年授業参観	
2月12日	2月13日	2月14日	2月15日	2月16日
	表彰集会	自転車通学生集会	第5回定期テスト 地区会(放課後)	私立高合格発表 学校保健安全委員会
2月19日	2月20日	2月21日	2月22日	2月23日
	学年集会 専門委員会	1・2年教育相談	1・2年教育相談	1・2年教育相談
2月26日	2月27日	2月28日	2月29日	3月1日
	生徒集会			
3月の主な予定 公立高校入試……3月5・6日、合格発表……14日、卒業式・修了式……3月19日				



グループ行動がとれない



多くの子どもは、小学校3、4年生頃から仲間を作り、グループ行動を楽しむようになりますが、そうした状況が苦手な子は少なくありません。

（１）「仲間に入れない理由は、子どもにより異なる」

思春期は、同年代集団における仲間形成の時期です。親子のつながりより同年代の子とのつながりが重視されるようになり、グループ行動が多くなってきます。この時期が後々、親友づくりや、ソーシャルスキルの獲得につながるとされています。

しかし、中学生になっても仲間を作ることに興味がなく、単独で行動している子もいます。一人でいるのは「誰にも邪魔されず、自分の好きなことができる」「他の子と協力したり、みんなと合わせたりするのが苦手」などの理由がありますが、自閉症スペクトラムの特性（社会性・コミュニケーション・想像力の苦手さ）が背景にある可能性もあります。

（２）「自分では、孤立する理由がなかなか理解できない」

「その場の状況や相手の気持ちをつかみにくい」「言葉で伝えるのが苦手」など、コミュニケーション力の弱い子も、人と関わろうとすると、ぎこちなくなると、自分から仲間に入るのが難しくなります。

相手の感情を察しにくかったり、話を聴きながら同時に相槌を打つことができなかったりする特性を持っていると、うまくいかない原因を理解できないこともあります。相手と協調する・配慮するといった心遣いが自分に足りなかったとしても、自分の言動にも原因があったとは気付かず、みんなに意地悪されていると考えて、精神的に不安定になってしまうこともあります。

（３）結論⇒「グループ行動がとれないことを、必要以上に悩まない」

- ① 社会性やコミュニケーション能力に困難がある子は、集団で行動すること自体がストレスになることを理解する。
- ② 学校で人とうまく関わらず、どうしても一人になってしまう場合は、担任、養護教諭、部活の顧問など、発達的な問題に理解のある教員との関係作りを心掛けると良いでしょう。保健室、教室、部活動など、子どもによって異なりますが、安心する居場所が一つでもできると、ストレスをため込むことが減っていきます。
- ③ 休日も友達と付き合うより、一人で好きな本を読んだり、趣味に打ち込んでいたりする方がリラックスできるのであれば、それらの時間を大切にしましょう。
- ④ 負担になりがちな仲間関係から、ある程度距離を置き、自分を生かす時間を大切にしていくことも、重要な自己管理法の一つです。



＜「思春期の発達障害」（中山和彦・小野和哉 著）より引用＞